

# 高知県感染症発生動向調査（週報）

2019年 第19週 （5月6日～5月12日）

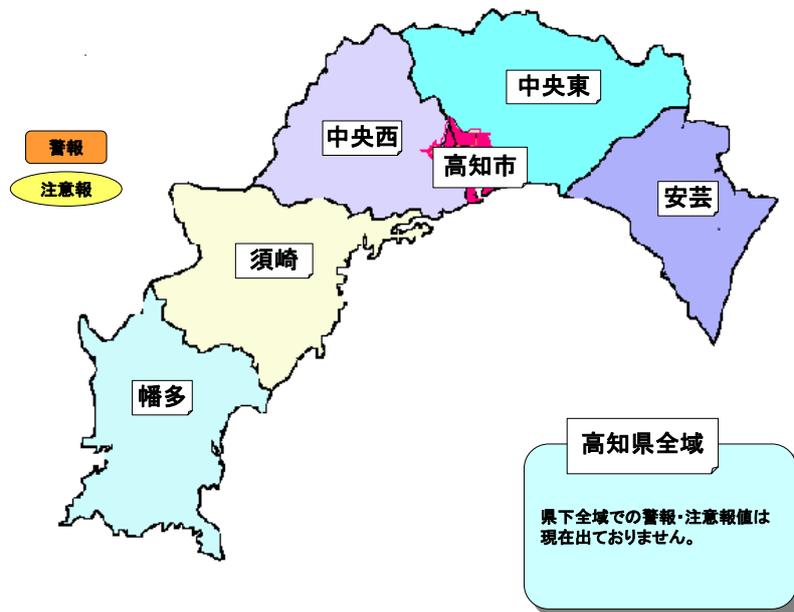
## ★県内での感染症発生状況

インフルエンザ及び小児科定点把握感染症（上位疾患5疾患）

↑ : 急増   
 ↗ : 増加   
 → : 横ばい   
 ↘ : 減少   
 ↓ : 急減

疾病名	推移	定点当たり 報告数	県内の傾向
感染性胃腸炎	<span style="color: magenta;">↗</span>	4.40	幡多、安芸、中央西で急増、県全域で増加しています。
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	<span style="color: magenta;">↗</span>	1.93	中央東で急減、須崎で減少していますが、中央西、安芸で急増、県全域、高知市、幡多で増加しています。
突発性発疹	<span style="color: magenta;">↗</span>	0.50	中央西で急減していますが、幡多、中央東で急増、県全域、高知市で増加しています。
インフルエンザ	<span style="color: yellow;">→</span>	0.48	中央東、須崎で急減していますが、中央西、高知市で急増、幡多で増加しています。
水痘	<span style="color: red;">↑</span>	0.33	県全域、須崎、高知市、中央西、中央東で急増しています。

## ★地域別感染症発生状況



## 【感染症予防の基本】

### 手洗い

感染症予防の基本は、手洗いです。帰宅時や調理の前後、食事前、トイレ後など石けんと流水で十分に手を洗いましょう。



### 咳エチケット

咳やくしゃみのある時にマスクを着用し、「周りの人に病気をうつさない」ためのマナーです。



## ★県内で注目すべき感染症（注意点や予防方法）

### ○感染性胃腸炎に気を付けて！

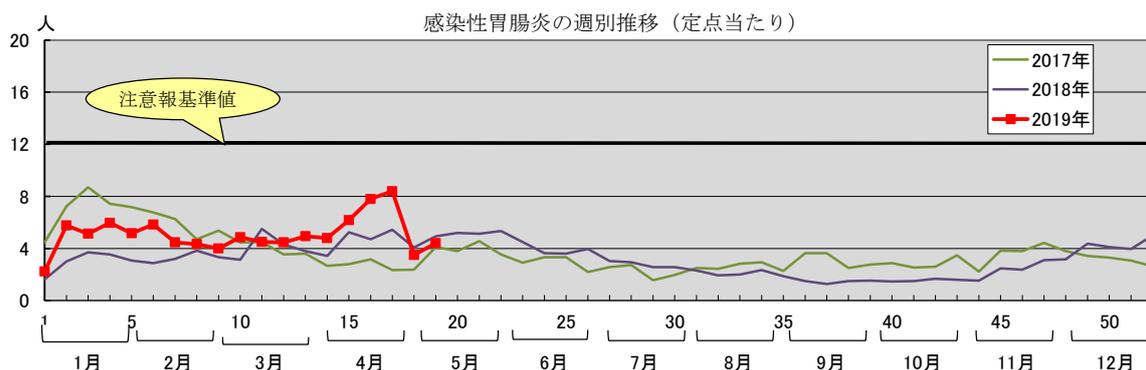
定点医療機関からのホット情報では、ノロウイルス 14 例やロタウイルスが 10 例、細菌のサルモネラ属菌 1 例やカンピロバクター属菌 1 例の報告があります。

この病気は、ウイルス又は細菌などの病原体により嘔吐、下痢を主症状とする感染症です。

潜伏期は、ノロウイルスは 12～48 時間程度、その他のウイルスは 24～72 時間程度、細菌は数時間～5 日程度です。

発症してから通常 1 週間以内に回復しますが、症状消失後も 1 週間程度、長い時には 1 ヶ月程度便中にウイルスの排出が続くことがあります。保育園や幼稚園、学校や社会福祉施設など集団生活の場で大規模な流行となることもあり注意が必要です。

細菌による感染性胃腸炎のほとんどの場合、患者との接触（便など）や汚染された水、食品によって経口的に感染します。



#### <予防方法> 手洗いが有効です

- ・帰宅時や調理・食事前、トイレの後には石けんと流水でしっかりと手を洗いましょう。
- ・ウイルスによる感染性胃腸炎では便や嘔吐物を処理する時は気を付けましょう。

感染した人の便やおう吐物には直接触れないようにし、使い捨て手袋、マスク、エプロンを着用し、次亜塩素酸ナトリウムまたは、家庭用の次亜塩素酸ナトリウムを含む塩素系漂白剤の使用法を確認したうえで、キッチンペーパーなどを使用して処理しましょう。処理後は石けんと流水で十分に手を洗いましょう。

- ・ロタウイルスについては、2種類のワクチン（単価と5価）が承認されており、乳児が任意で接種することが可能です。詳細については医療機関でご相談ください。
- ・細菌による感染性胃腸炎の予防対策を心がけましょう

食中毒の一般的な予防方法（【食中毒予防の三原則】食中毒菌を①付けない（洗う・分ける） ②増やさない（低温保存・早めに食べる） ③やっつける（加熱処理））です。食品の冷所保存を心がけ、長期保存は避ける、加熱は十分にするなど、日常生活での食中毒予防を心がけてください。

#### ●厚生労働省 「ノロウイルスに関するQ&A」

[http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou\\_iryuu/shokuhin/syokuchu/kamren/yobou/040204-1.html](http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/shokuhin/syokuchu/kamren/yobou/040204-1.html)

#### ●衛生環境研究所 「高知県ノロウイルス対策マニュアル」

<http://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/130120/norovirus.html>

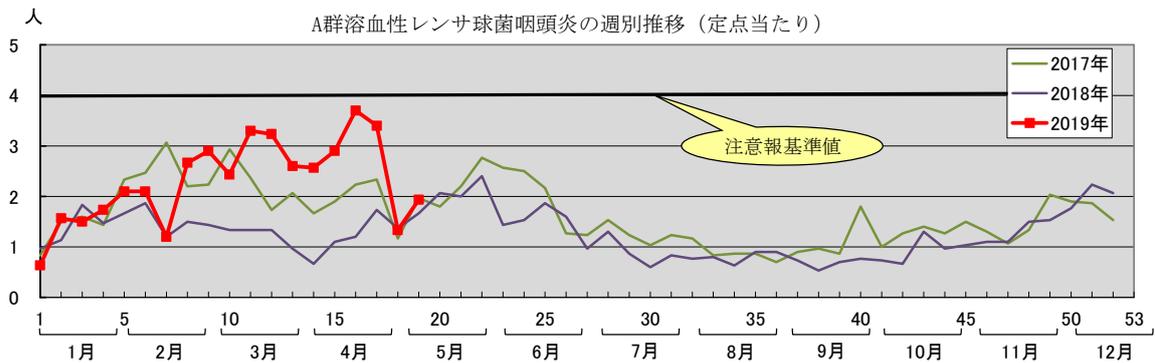
#### ●厚生労働省「感染性胃腸炎（特にロタウイルス）について」

<https://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekkaku-kansenshou19/Rotavirus/top.html>

### ○A 群溶血性レンサ球菌に気を付けて！

この病気は A 群レンサ球菌による上気道感染症です。

典型的な症状は、2～5 日の潜伏期を経て、突然 38℃以上の発熱、咽頭発赤、莓状の舌などがみられます。1 週間以内に症状は改善しますが、まれに重症化し、喉や舌、全身に発赤が広がる全身症状を呈することがあります。



<予防方法> 手洗い、咳エチケットが有効です

患者の咳やくしゃみなどのしぶきに含まれる細菌を吸い込むことによる「飛沫感染」あるいは細菌が付着した手で口や鼻に触れる「接触感染」が主な感染経路になります。患者との濃厚接触を避け、手洗い、咳エチケットを心掛けましょう。



### ☆ダニの感染症（日本紅斑熱・SFTS）に注意！

第19週に安芸福祉保健所管内から「日本紅斑熱」の発生届けが1例ありました。

「日本紅斑熱」や「SFTS（重症熱性血小板減少症候群）」は屋外に生息するダニの一種で、比較的大型（吸血前で3～4mm）の「マダニ」が媒介する感染症です。

「マダニに咬まれないこと」がとても重要です。

マダニは、暖かい春から秋にかけて盛んに活動し、この期間に多くの患者発生がみられますが、冬でも発生例が報告されています。暖かくなってきましたので、屋外で活動される場合はマダニ対策を心がけましょう（全てのマダニが病原体を持っているわけではありません）。

【マダニに咬まれないために】

- 長袖・長ズボン・長靴などで肌の露出を少なくしましょう。
- マダニに対する虫除け剤（有効成分：ディートあるいはイカリジン）を活用しましょう。
- 地面に直接座ったりしないよう、敷物を使用しましょう。
- 活動後は体や衣服をはたき、帰宅後にはすぐに入浴し、マダニに咬まれていないか確認しましょう。
- ペットの散歩等でマダニが付き、家に持ち込まれることがありますので注意しましょう。

#### 国内で入手できる忌避剤の種類と特徴

忌避剤	有効成分含有率	分類	有効持続時間	注意事項	特徴
ディート	5～10%	防除用 医薬部外品	1～2時間	6ヶ月未満児には 使用禁止	・独特の匂い ・べたつき感 ・プラスチック・化学繊維・皮革を 腐食することもある
	12%	防除用 医薬品	約3時間	使用禁止	
	高濃度製剤 30%	防除用 医薬品	約6時間	12歳未満は 使用禁止	
イカリジン	5%	防除用 医薬部外品	～6時間		
	高濃度製剤 15%	防除用 医薬品	6～8時間		

※国立感染症研究所「マダニ対策、今できること」より抜粋

※市販の虫除け剤（忌避剤）は、用法・用量・使用方法をよく読んで使用してください。

#### 発熱等の症状が出たとき

野山に入ってからしばらくして（数日～数週間程度）発熱等の症状が出た場合、医療機関を受診してください。受診の際、発症前に野山に立ち入ったこと（ダニに咬まれたこと）を申し出てください。

- 重症熱性血小板減少症候群（SFTS）に関する Q&A（厚生労働省）  
[http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekaku-kansenshou19/sfts\\_qa.html](http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekaku-kansenshou19/sfts_qa.html)
- 高知県衛生環境研究所「ダニが媒介する感染症及び注意喚起パンフレット」  
<http://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/130120/2015111600016.html>

★病原体検出情報

受付週	臨床診断名	臨床症状	年齢	性別	保健所	ウイルス、細菌の検出状況
19	—	38℃,発疹,	1	女	高知市	Cytomegalovirus
19	不明発疹症	発疹,	5	女	須崎	Human herpes virus 6
19	手足口病	38℃,嘔吐,嘔気,	4	女	須崎	Human herpes virus 7
19	インフルエンザ	38℃,下痢,腹痛,	16	男	須崎	Influenza virus B/Victoria
19	感染性胃腸炎	38℃,	1	女	高知市	Norovirus GII NT
19	感染性胃腸炎	37℃,下痢,嘔吐,嘔気,	3	男	須崎	Norovirus GII NT
19	感染性胃腸炎	38℃,嘔吐,嘔気,	6ヶ月	男	高知市	Sapovirus genogroup unknown

前週以前に搬入

受付週	臨床診断名	臨床症状	年齢	性別	保健所	ウイルス、細菌の検出状況
16	—	下痢,嘔吐,嘔気,	11ヶ月	男	幡多	Adenovirus 2
17	—	嘔吐,嘔気,	7ヶ月	女	高知市	Adenovirus 2
17	—	下痢,嘔吐,嘔気,	1	女	中央東	Adenovirus 31
17	不明発疹症	40℃,咳嗽,発疹,	1	男	須崎	Cytomegalovirus
17	髄膜炎疑い	—	10ヶ月	女	中央東	Human herpes virus 6
17	不明発疹症	発疹,	11	男	須崎	Human herpes virus 7
17	—	39℃,	0ヶ月	男	高知市	Rhinovirus
17	咽頭扁桃炎	40℃,結膜炎,	1	女	中央東	Rhinovirus

★全数把握感染症

類型	疾病名	件数	累計	内 容	保健所
2類	結核	1	38	15~19歳男	高知市
		1		40歳代女	
4類	日本紅斑熱	1	1	70歳代女	安芸
5類	梅毒	1	6	40歳代男	中央東
		1		5~9歳男	
	百日咳	1	69	5~9歳女	高知市
		1		10~14歳男	
		1		30歳代女	

★定点医療機関からのホット情報

保健所	医療機関	情 報
安 芸	田野病院小児科	アデノウイルス胃腸炎1例(3歳男)
中央東	早明浦病院小児科	ノロウイルス胃腸炎2例(1歳男女) ロタウイルス胃腸炎1例(9ヶ月女)
	高知大学医学部付属病院小児科	ノロウイルス腸炎1例(7歳男) ロタウイルス腸炎1例(3歳女)
高知市	高知医療センター小児科	ロタウイルス1例(1歳女)
	福井小児科・内科・循環器科	伝染性紅斑1例(6ヶ月女)
	けら小児科・アレルギー科	ノロウイルス腸炎3例(1歳2人、14歳) ロタウイルス腸炎1例(4歳) カンピロバクター腸炎1例(13歳) サルモネラ(O-8)腸炎1例(10歳) アデノウイルス咽頭炎2例(1歳、3歳)
	三愛病院小児科	hMPV1例(2歳男)
中央西	細木病院小児科	ノロ7例(10ヶ月男、1歳男2人、2歳男、3歳女、5歳女、8歳男) ロタ6例(1歳女、2歳女、5歳男女、6歳女、10歳男)
	くぼたこどもクリニック	アデノウイルス扁桃炎2例(1歳男女)
須 崎	日高クリニック	アデノウイルス扁桃炎5例(1歳男2人、1歳女、2歳男、45歳男) hMPV1例(9ヶ月男)
	もりはた小児科	水痘1例(8歳男:ワクチン1回済み、クラスメイトからの感染)
幡 多	渭南病院小児科	18週追加 突発性発疹1例(7ヶ月男)
	こいけクリニック	ノロウイルス1例(2歳男) マイコプラズマ肺炎1例(2歳女)
	さたけ小児科	hMPV1例(3歳女)
	幡多けんみん病院小児科	hMPV1例(3ヶ月男)
	松谷病院	溶連菌感染症1例(40歳男)

## ★県外で注目すべき感染症

### ○風しんの届出数が多い状態が継続しています

2019年第1週～18週の報告数は1434人となっており（2018年の同時期全国で15人）、94%（1354人）が成人で、30歳から50歳代の男性を中心に（男性1143人、女性291人）に報告数の多い状態が継続しています。



報告数の多い都道府県は、東京都、神奈川県、千葉県、大阪府、埼玉県以外に福岡県、兵庫県、愛知県、広島県、北海道など首都圏以外の地域からも報告が認められています。

大型連休後、感染が拡大する可能性がありますので、人混みを避けるなど今後さらなる注意・予防に務めましょう。

#### 【風しんについて】

症 状 : 発熱、発疹、リンパ節の腫れ

感 染 経 路 : 患者の咳やくしゃみのしぶきによる飛沫感染および接触感染でヒトからヒトへ感染

潜 伏 期 間 : 2～3週間程度

感染性のある期間: 発疹のでる7日前から発疹出現後7日くらいの間

#### 【風しんを疑ったら】

発熱や発疹など風しんに特徴的な症状が現れた方は、必ず事前に医療機関に連絡の上、受診してください。

#### 【予防方法】

- 風しんの予防、感染の拡大防止には予防接種が効果的です。  
風しんの定期接種対象者は、予防接種を受けましょう（1歳児、小学校入学前1年間の幼児の方）
- 風しんに感染した方の周りに抗体の低い妊婦がいる場合、特に妊娠20週頃まで（妊娠初期）の女性が風しんに罹ると胎児が風しんウイルスに感染し、難聴や心疾患など様々な障害（先天性風しん症候群）をもった赤ちゃんが生まれる可能性があります。妊婦や赤ちゃんを守る観点から妊婦の周りにいる方（夫、子供及びその他の同居人）は風しんに罹らないように予防に努めましょう。

#### 【風しんの抗体検査について】

県及び高知市は、風しん及び先天性風しん症候群の発生の予防及びまん延防止を図るため、高知県内在住（住所を有する者）の妊娠を希望する女性やその家族などに対して無料の風しん抗体検査を実施しています。

抗体検査を実施する医療機関により検査受付は異なりますので、受診を希望する医療機関に事前にお問い合わせください（住所を証明する書類（運転免許証や健康保険被保険者証等）を持参ください）。

無料の風しん抗体検査の実施及び抗体検査の委託を受けた医療機関（高知県健康対策課ホームページ）

<http://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/130401/fushinkensa.html>

#### 【各医療機関管理者の皆様へ】

（高知県健康対策課 平成30年8月17日付け30高健対第859号「風しんの届出数の増加に伴う注意喚起」より）

- 発熱や発疹を呈する患者を診察した際は、風しんに罹っている可能性を念頭に置き、最近の海外渡航歴及び国内旅行歴を聴取し、風しんの予防接種を確認するなど風しんを意識した診察をお願いいたします。
- 風しんを疑う患者を診察した際は、確定診断のためのウイルス検査を県衛生研究所で行いますので、直ちに最寄りの福祉保健所又は高知市保健所へ届け出るようお願いいたします。

●風しん Q&A2018年1月30日改訂版(国立感染症研究所)

<https://www.niid.go.jp/niid/ja/rubellaqa.html>

●風しんについて(厚生労働省)

[https://www.mhlw.go.jp/seisakunitsuite/bunya/kenkou\\_iryuu/kenkou/kekaku-kansenshou/rubella/](https://www.mhlw.go.jp/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/kekaku-kansenshou/rubella/)

●衛研ニュース第20号(高知県衛生研究所)30～50歳代の男性！風しんのことを知っていますか？

<http://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/130120/2018101000056.html>

## ○麻疹に気を付けて！

麻疹については、平成 27 年 3 月 27 日付けで世界保健機関西太平洋地域事務局により日本が排除状態にあることが認定されましたが、その後も海外で感染した患者を契機とした国内での感染の拡大事例が散見されています。2019 年第 1 週～18 週の全国の麻疹の報告数は 467 人と（2018 年の同時期全国で 143 人）前年と比較して多い状態が継続しています。大型連休後麻疹患者の移動等により、感染の拡大する可能性がありますので注意してください。

予防にはワクチン接種が有効です。定期接種の対象年齢になったら、予防接種を受けましょう。

### 【各医療機関管理者の皆様へ】

（高知県健康対策課 平成 31 年 3 月 4 日付け 30 高健対発第 1886 号「麻疹発生報告数の増加に伴う注意喚起」より）

- ①発熱や発しんを呈する患者を診察した際は、麻疹の可能性を念頭に置き、海外渡航歴及び国内旅行歴を聴取し、麻疹の罹患歴及び予防接種歴を確認するなど、麻疹を意識した診療をお願いいたします。
- ②麻疹を疑う患者を診察した場合は、所在地を所管する県福祉保健所又は高知市保健所に連絡し、確定診断のための県衛生研究所でのウイルス検査を行いますので、直ちに最寄りの福祉保健所又は高知市保健所へご連絡をお願いします。また、麻疹患者と確定した場合は、感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律（平成 10 年法律第 114 号）第 12 条第 1 項の規定に基づき、所在地を所管する県福祉保健所又は高知市保健所へ速やかに届け出るとともに、麻疹の感染力の強さに鑑みた院内感染予防対策をお願いいたします。

●医療機関での麻疹対応ガイドライン第七版 平成30年5月（国立感染症研究所疫学センター）

[https://www.niid.go.jp/niid/images/idsc/disease/measles/guideline/medical\\_201805.pdf](https://www.niid.go.jp/niid/images/idsc/disease/measles/guideline/medical_201805.pdf)

●麻疹について（厚生労働省）

[https://www.mhlw.go.jp/seisakunitsuite/bunya/kenkou\\_iryuu/kenkou/kekakaku-kansenshou/measles/index.html](https://www.mhlw.go.jp/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/kekakaku-kansenshou/measles/index.html)

●麻疹（国立感染症研究所）

<https://www.niid.go.jp/niid/ja/diseases/ma/measles.html>

発行：高知県感染症情報センター（高知県衛生環境研究所）  
〒780-0850 高知市丸ノ内2-4-1（保健衛生総合庁舎1階）  
TEL：088-821-4961 FAX：088-825-2869

この情報に記載のデータは2019年5月13日現在の情報により作成しています。調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがありますが、その場合週報上にて訂正させていただきます。

★高知県感染症情報  
疾病別・地域別報告数

高知県感染症情報(59定点医療機関)

第19週 令和1年5月6日(月)～令和元年5月12日(日)

高知県衛生環境研究所

定点名	保健所 疾病名	安芸	中央東	高知市	中央西	須崎	幡多	計	前週	全国(18週)	高知県(19週末累計)		全国(18週末累計)	
											H30/12/31～R1/5/12	H30/12/31～R1/5/5		
インフルエンザ	インフルエンザ		3	7	6	1	6	23 ( 0.48 )	21 ( 0.44 )	4,703 ( 1.02 )	13,711 ( 285.65 )	1,403,410 ( 284.61 )		
小児科	咽頭結核熱			4			3	7 ( 0.23 )	6 ( 0.20 )	590 ( 0.20 )	90 ( 3.00 )	18,453 ( 5.86 )		
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	2	2	39	5	1	9	58 ( 1.93 )	40 ( 1.33 )	2,255 ( 0.77 )	1,314 ( 43.80 )	129,127 ( 41.02 )		
	感染性胃腸炎	5	27	69	4	1	26	132 ( 4.40 )	105 ( 3.50 )	6,401 ( 2.20 )	2,902 ( 96.73 )	337,270 ( 107.14 )		
	水痘	1	2	5	1	1		10 ( 0.33 )	1 ( 0.03 )	606 ( 0.21 )	136 ( 4.53 )	18,468 ( 5.87 )		
	手足口病		1	1				2 ( 0.07 )	4 ( 0.13 )	1,001 ( 0.34 )	27 ( 0.90 )	11,125 ( 3.53 )		
	伝染性紅斑		4	5				9 ( 0.30 )	8 ( 0.27 )	663 ( 0.23 )	139 ( 4.63 )	35,705 ( 11.34 )		
	突発性発疹		2	9		1	3	15 ( 0.50 )	10 ( 0.33 )	540 ( 0.19 )	156 ( 5.20 )	19,858 ( 6.31 )		
	ヘルパンギーナ							( )	( )	157 ( 0.05 )	7 ( 0.23 )	1,646 ( 0.52 )		
	流行性耳下腺炎							( )	1 ( 0.03 )	151 ( 0.05 )	17 ( 0.57 )	4,928 ( 1.57 )		
	RSウイルス感染症		2					2 ( 0.07 )	13 ( 0.43 )	696 ( 0.24 )	329 ( 10.97 )	24,983 ( 7.94 )		
眼科	急性出血性結膜炎							( )	( )	2 ( )	( )	125 ( 0.18 )		
	流行性角結膜炎			3				3 ( 1.00 )	2 ( 0.67 )	146 ( 0.23 )	32 ( 10.67 )	7,293 ( 10.52 )		
基幹	細菌性髄膜炎							( )	( )	5 ( 0.01 )	1 ( 0.13 )	177 ( 0.37 )		
	無菌性髄膜炎							( )	( )	5 ( 0.01 )	( )	185 ( 0.39 )		
	マイコプラズマ肺炎			3				3 ( 0.38 )	3 ( 0.38 )	60 ( 0.13 )	48 ( 6.00 )	1,427 ( 2.98 )		
	クラミジア肺炎 (オウム病は除く)							( )	( )	1 ( )	3 ( 0.38 )	41 ( 0.09 )		
	感染性胃腸炎 (ロタウイルスに限る)		1	7				8 ( 1.00 )	9 ( 1.13 )	280 ( 0.59 )	74 ( 9.25 )	2,980 ( 6.22 )		
計 (小児科定点当たり人数)	8 ( 4.00 )	44 ( 6.00 )	152 ( 12.43 )	16 ( 4.53 )	5 ( 2.25 )	47 ( 8.95 )	272 ( 8.31 )			18,262	18,986 ( 456.21 )	2,017,201		
前週 (小児科定点当たり人数)	2 ( 1.00 )	57 ( 7.69 )	121 ( 9.78 )	6 ( 1.60 )	12 ( 4.00 )	25 ( 4.78 )		223 ( 6.69 )						

注 ( )は定点当たり人数。

高知県感染症情報(59定点医療機関) 定点当たり人数

第19週

定点名	保健所 疾病名	安芸	中央東	高知市	中央西	須崎	幡多	計	前週	全国(18週)	高知県(19週末累計)		全国(18週末累計)	
											H30/12/31～R1/5/12	H30/12/31～R1/5/5		
インフルエンザ	インフルエンザ		0.27	0.44	1.20	0.25	0.75	0.48	0.44	1.02	285.65	284.61		
小児科	咽頭結核熱			0.36			0.60	0.23	0.20	0.20	3.00	5.86		
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.00	0.29	3.55	1.67	0.50	1.80	1.93	1.33	0.77	43.80	41.02		
	感染性胃腸炎	2.50	3.86	6.27	1.33	0.50	5.20	4.40	3.50	2.20	96.73	107.14		
	水痘	0.50	0.29	0.45	0.33	0.50		0.33	0.03	0.21	4.53	5.87		
	手足口病		0.14	0.09				0.07	0.13	0.34	0.90	3.53		
	伝染性紅斑		0.57	0.45				0.30	0.27	0.23	4.63	11.34		
	突発性発疹		0.29	0.82		0.50	0.60	0.50	0.33	0.19	5.20	6.31		
	ヘルパンギーナ									0.05	0.23	0.52		
	流行性耳下腺炎								0.03	0.05	0.57	1.57		
	RSウイルス感染症		0.29					0.07	0.43	0.24	10.97	7.94		
眼科	急性出血性結膜炎											0.18		
	流行性角結膜炎			3.00				1.00	0.67	0.23	10.67	10.52		
基幹	細菌性髄膜炎									0.01	0.13	0.37		
	無菌性髄膜炎									0.01		0.39		
	マイコプラズマ肺炎			0.60				0.38	0.38	0.13	6.00	2.98		
	クラミジア肺炎 (オウム病は除く)										0.38	0.09		
	感染性胃腸炎 (ロタウイルスに限る)		1.00	1.40				1.00	1.13	0.59	9.25	6.22		
計 (小児科定点当たり人数)	4.00	6.00	12.43	4.53	2.25	8.95	8.31			456.21				
前週 (小児科定点当たり人数)	1.00	7.69	9.78	1.60	4.00	4.78		6.69						



# 病別年次報告数推移グラフ(インフルエンザ定点・小児科定点・眼科定点)

## 高知県感染症情報 疾病別年次報告数推移(2019年 第19週)

